

つくば常民大学6月(第45回)

講師：五家建夫氏（元・JAXA 宇宙航空研究開発機構職員）

題目：「宇宙開発で学んだ事」

日時：2025 年 6 月 19 日（木）午後 1 時半～4 時

場所：つくば市二の宮交流センター

※ 参加自由・要資料代

【発表内容】

宇宙開発事業団（NASDA）の第1期生（物理学出身）で採用され、筑波宇宙センターの大型磁気試験装置の建設、国産人工衛星の開発、特に日本最初の静止衛星の運用（世界3番目の自国ロケット打上）、宇宙環境が人工衛星に及ぼす影響調査のために20年間で約20機の衛星（スペースシャトルやISSにも）に宇宙環境計測装置を搭載、その測定データに基づき宇宙環境モデルを作成、さらにISO国際宇宙規格に準じ、宇宙での人工衛星の不具合を未然に防ぐ論文を発表してきました。宇宙飛行士が受ける放射線環境も計測、宇宙天気予報にも寄与してきました。

1. イントロ：人工衛星とは、宇宙開発とは
2. 大型磁気試験装置を筑波に建設
衛星の磁気モーメント測定と搭載する磁気センサの校正
3. 世界3番目の自国静止衛星の打ち上げ後の運用
静止気象衛星の試験・射場・打上げ記録を6分間にまとめた動画
4. 宇宙環境による衛星への影響
5. 私のコレクション：ナッツ・クラッカー（実物・実演）



JAXA・筑波宇宙センター